

信リハ通信

第18号 2022年1月発行

ボランティア活動



9月22日(水)に1年生科目のボランティア論にて、感染拡大に配慮しつつ学校周辺の「地域にあるお寺の清掃活動」と「学校周辺の地域の清掃活動&ハザードマップ作成」を、学生が企画し実践しました。

学生は真剣に活動に取り組み、地域の方にも喜んでいただける活動を行うことができました。

この経験を今後の生活や患者様とのふれあいの中に活かしていきましょう！



1年生 飯澤 奈々

今回、贅川地区のハザードマップを作成したことで、その重要性や、杖、車椅子を日常生活の環境で使用する事の難しさを知りました。

私たちが作成したハザードマップは今回は授業中だけのものですが、機会があれば実際に地区の皆さんの目の届く場所に貼られ、災害時での事故を防ぐ手助けになれば嬉しく思います。

また、この授業の中で贅川地区を歩いたことで、贅川の良さをあらためて感じる事ができました。



学生交流会

11月5日(金)学生交流会を開催しました。

例年であれば檜翔祭として地域の文化祭と合同開催で盛り上がりますが、感染防止のため断念しました。代わりに学生のみで交流会を企画し、感染に注意して行いました。

企画や準備は大変でしたが、責任を持ち行動することや学年を越えて交流を深めることができました。

学生会長 2年生 田代 涉悟

今年も新型コロナウイルス感染症の影響のため、小規模で学生交流会を行いました。

他学年との交流が少なかったため初めはお互い緊張していましたが、最後には皆の笑顔があふれ学年の壁を越えて親睦が深まったと感じました。

半日ではありましたが、充実した時間を過ごすことができました。



環境美化

環境美化活動では、普段の清掃で手の行き届かない箇所まで清掃します。前は11月5日に行いました。

檜翔祭の準備につながる環境美化でもあり、例年は賑やかにワイワイ清掃します。

今年は、コロナ前の檜翔祭を学生に伝えながら黙々とまじめに清掃活動しました。



普通救命救急講習

木曽消防署北分署員の皆様をお招きし、心肺蘇生法と人工呼吸の実技、AEDの使い方などを学びました。

救急車が到着するまで心肺蘇生を行うことを想定して、「10分間、仲間と連携して絶え間なく心肺蘇生を行う」という演習を行いました。

救命活動するメンバー同士の連携や、率先して動くことの重要性を学ぶことができました。



障がい者スポーツ

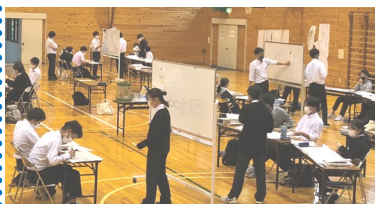
10月11日（月）に長野県障がい者スポーツ協会から講師をお招きし、本校アリーナでポッチャと車椅子バスケットボールを体験しました。

今年は新型コロナの第5波の影響を受けました。協会のご理解によって、講義はオンライン、体験は延期で実施することができました。

楽しく学ぶことができ、後日、学生交流会で再び楽しむことができました。



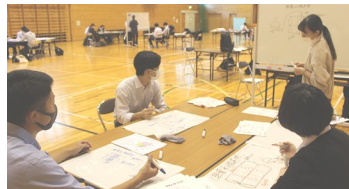
グループ学習



前期では授業日程の関係で残念ながら1・2年合同では行えず、各学年での実施となりました。

学内テストを通じて分からない単語をグループ内で手分けして調べ、解説を行いました。相手に理解してもらうためには、まず自分がしっかりと理解することが必要です。それがとても難しいことであることを実感しながら学ぶことができました。

今後の自己学習等に役立てられるようにしてほしいと思います。



保護者の声

3年生

渡辺 陽平さん保護者

渡辺 一広 様
ふみ枝 様



息子は小学校5年生の時に股関節の炎症で松葉杖生活になり、その時に理学療法士という仕事を知り目指したいと思ったようです。

当校へ入学して先生方のご指導の下、接遇を学ばせて頂きました。そのおかげで身だしなみや言葉遣い等の変化を感じる事ができました。とても感謝しております。

仲間と同じ目標に向かい切磋琢磨してきたこと、実習を支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、理学療法士として患者様に寄り添い、万進していってほしいと思います。

青木先生特別講習



3年生は8月5日(木)、相澤健康スポーツ医科学センター長青木啓成先生の特別講義を受講しました。多方面にわたり活躍されている青木先生から、スポーツ分野での

理学療法士の役割やコンディショニングについてご教授いただき、その即効性に驚きと感動の声が上がりました。

グループワークでは知恵を絞ってトレーニング方法を考えアドバイスをいただき、貴重な学習経験となりました。



防災訓練

11月11日(木)木曽消防北分署から3名の署員にお越しいただき、大震災を想定した防災訓練を実施しました。

身を守る行動から避難まで、スムーズに行えました。学生同士のけが人救助もご指導いただいたとおりの確に行動できました。ありがとうございました。



3年生は同じ目標に向かい
猛勉強中です！



国家試験の日程

第57回理学療法士国家試験
令和4年2月20日(日)

合格発表
令和4年3月23日(水)14:00
(厚労省HP)

実習を終えて

「見学実習」

1年生 河西 雅人



見学実習では患者様とのコミュニケーションの取り方や、患者様との関係性の見学、バイタルサインチェックや周径などの体験をさせていただきました。

良い緊張感の中、たくさんの知識や思いやりの気持ちをもつことの大切さを学ぶことができました。

コロナ禍で大変な中、医療・福祉現場での見学実習をさせていただけることへの感謝の気持ちを忘れず、5日間取り組むことができました。

「臨床実習」

3年生 上原 隼太



8週間×2回の臨床実習を終えることができました。Ⅰ期、Ⅱ期を通して多種多様な疾患に対する理学療法について現場でしか学べないことをたくさん吸収し、知識、技術を向上することができました。

また、多くの経験の中で自らの課題も明確にすることができました。実習で学んだことを、今後の国家試験勉強や臨床の場に出た際の糧としていきたいと思います。

臨床実習に行かせて頂き、ありがとうございました。

卒業生の声

長野県立病院機構 長野県立木曽病院勤務
4期生 神村 諒 先生



信州リハビリテーション専門学校4期卒業生の神村諒と申します。

私は現在、長野県立病院機構の職員として故郷である木曽地域で働いています。2次医療圏に病院が1つしかない地域は全国でも木曽地域しかなく、リハビリテーションを必要としている患者さんの疾患も多岐にわたります。その分やりがいや達成感も多く、充実した毎日を過ごしています。

信州リハビリテーション専門学校では理学療法士としてはもちろん、社会人として生きていくための接遇を学ばせていただきました。また、在学中は多くの仲間に恵まれ、つらい実習や国家試験をみんなで助け合いながら乗り越えることができました。その仲間は、今でもとても大切な存在です。

在校生のみなさんには国家資格取得を目指して勉強をするのはもちろんですが、今しか過ごせない仲間との時間を大切にしたいと思っています。



令和3年度学校自己評価結果について

学校長 村松 秀明



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。学生がコロナ禍でも学びを継続できるのは、関係する皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しています。教職員一同、柔軟性と強靭さを持ち合わせた医療人・社会人の育成に励んでまいります。

今年度も、学校自己評価を実施しましたのでご報告いたします。

1. 自己評価の目標

より良い学校運営と、家庭・地域との連携による開かれた学校づくりを目的に、教職員が学校の理念・目標に照らして自らの教育活動について行う評価。

2. 自己評価の結果の概要

本校教職員が対象で、11分野50項目のアンケート形式で、4段階評価(4：よく取り組んでいる、3：まあまあ取り組んでいる、2：あまり取り組めていない、1：全く取り組めていない)にて行いました。

結果は下表の通りとなりました。

分 野	評価 (前年度)	分 野	評価 (前年度)
1 教育理念・目標・育成人材像等	3.76 (3.70)	7 学生募集と受け入れ	3.98 (3.88)
2 学 校 運 営	3.80 (3.72)	8 財 務	3.93 (3.90)
3 教 育 活 動	3.88 (3.90)	9 法令等の遵守	4.00 (3.94)
4 教 育 成 果	3.36 (3.53)	10 社 会 貢 献	3.82 (3.75)
5 学 生 支 援	3.69 (3.64)	11 意見要望の把握及びその活用	3.91 (3.73)
6 教 育 環 境	3.85 (3.83)	全体平均評価	3.82 (3.77)

3. 各分野に対する評価

概ね良好な評価結果でした。中でも「7学生募集」「8財務」「9法令等の遵守」「11意見要望の把握及びその活用」の評価値は高く、具体的には○適正な募集活動、入学選考の実施、○財政情報公開体制、○法令、情報保護の適正、○学生、保護者からの意見要望体制などが高評価となっています。その他ではパソコンとプロジェクターの新調や、交通災害時の迅速なオンライン対応、早い決裁による業務効率向上なども良かったこととして挙がりました。低値の項目では「4学生支援」の中の・課外活動に対する支援体制整備と機能に関し3.18でした。コロナ感染症の終息に向け、取り組みが必要です。

4. 同時実施アンケート結果

併せて学生、保護者に対し3種のアンケートを行いました。満足度(満足している・やや満足している・良くあてはまる・まあまああてはまる)は、以下の通りです。

「学生による授業アンケート」 94.3% (前年度94.5%) 「学生アンケート」 90.4% (前年度91.1%)
「保護者アンケート」 95.9% (前年度94.7%)

5. 今後に向けた取り組み

自己評価では、それぞれが真摯に取り組んでいる結果といえますが、しかし学生アンケート項目からは、悩みや相談への対応や、個性や特性に合わせた指導を求める結果が得られました。授業以外で学生と関わる機会を増やし、必要に応じ学習だけでなく生活全般の援助を心掛けていきます。新型コロナウイルス感染症には、引き続き対策を講じていき、可能となれば学外での学びも取り入れていきます。就職難の傾向がみられることから、就職支援方法や時期を見直し、援助していきます。定員数の学生に入学していただき、国家試験合格まで楽しく学べる学校となるよう努めてまいります。



関連法人

医療法人社団 敬仁会



【桔梗ヶ原病院】

社会福祉法人 平成会



【介護老人福祉施設さわらび】

姉妹校



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

編集後記：信リハ通信第18号をお読みいただきありがとうございます。冬の贅川は厳しい寒さの中にも清々しさを感じられるこの頃です。新年を迎え、学生・教職員共に夢の実現に向け歩みはじめております。お読みいただいたご感想ご意見等ございましたらぜひお聞かせください。



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

〒399-6301 長野県塩尻市贅川1215-2

TEL：0264-34-1023/FAX：0264-34-3371

<https://syoujyu-g.ac.jp/reha/>



信リハ

検索

最新情報を更新中です
ぜひご覧ください♪